

特定非営利活動法人わんずペーすと連携協力協定を締結

2024年7月22日

国立大学法人東京農工大学ディープテック産業開発機構（機構長：長澤和夫 以下、「ディープテック産業開発機構」という。）と特定非営利活動法人わんずペーす（理事長：鈴木美枝 以下、「わんずペ〜す」という。）は、人のウェルビーイングの向上を目指し、伴侶動物と末永く共生できる社会を築くことを目的に、連携及び協力に関する協定を締結しました。

【概要】

東京農工大学は、学長ビジョンに「目指すべき社会の姿を提案・先導する」ことを掲げ、その一つとして、医療・健康・福祉の観点から、人と動物そして自然環境の持続的な発展を一体的に実現する『ワンウェルフェア』を目指しています。核家族化と高齢化が今後益々進むことが予想される現代社会において、犬や猫に代表される伴侶動物も人々のウェルビーイングを向上させる重要な役割を果たしていくと期待されます。

東京農工大学ディープテック産業開発機構では、これまでに、東京都大学研究者による事業提案制度採択事業「大学と自治体、企業、NPOの協働による高齢者の福祉向上を目指した動物との共生社会の実現と拠点形成」により、人と動物が共に健康に幸せに暮らす、人と動物のよりよい共生のための情報を発信してきました。

今回、ディープテック産業開発機構では、人と伴侶動物との暮らしを支える社会の仕組みづくりに貢献するべく、キャンパス内の動物医療施設における診療技術および診療体制を『ワンウェルフェア』の視点から向上させる取組を始めることとしました。

今後、わんずペ〜すが受け入れた保護犬の健康診断（血液検査・感染症等のPCR検査）・不妊手術について、本学小金井動物救急医療センターが協力します。

保護犬は家庭犬になった後も、より多くの症例犬のために、センターの動物医療の中で献血ボランティア犬として、規定をクリアした犬においては登録を行い、譲渡後は里親家族の任意のもと、献血にご協力いただける体制を整えます。

本取組は、大学とNPO法人との協働により、社会課題である保護犬事業の推進および本学動物病院の診療技術向上を通じて、一頭でも多くの伴侶動物が家族と共に健康で幸福な生活が送れることを目指します。

【連携協力事項】

(1) ディープテック産業開発機構の学内連携動物医療施設において行う、わんずペ〜すの管理下にある保護犬の健康診断及び不妊手術

(2) ディープテック産業開発機構の学内連携動物医療施設において、献血が必要となったときの保護犬からの献血協力

(3) 保護犬の健康及び福祉に関する、ディープテック産業開発機構からの助言、指導、提言等の協力

(4) その他、本協定の目的遂行上必要な事項

特定非営利活動法人わんずペーす（わんずペ〜す）

<http://www.wanspace.jp>

◆本件に関する問い合わせ◆

東京農工大学 研究支援課 研究戦略推進係

E-mail:wakate@cc.tuat.ac.jp

TEL/FAX:042-367-5944

連携協カイメージ



国立大学法人
東京農工大学



保護犬の健康・福祉に関する
助言・指導・提言

安定的な
献血体制の整備

地域高度医療の
維持・発展



小金井動物救急医療センター
Animal Medical Emergency Center



感染症未来疫学研究センター
Center for Infectious Disease Epidemiology and Prevention Research

シェルター・
メディスン

保護された動物

不妊手術の技術協力

感染症
抑止事業

動物と人間の
軋轢の解消

One Welfare

ワンウェルフェア



連携・協力

人と伴侶動物との暮らしを
支える仕組みづくり



人と動物が末永く幸せに
共存・生活できる環境づくり

保護犬の献血登録

保護犬の健康診断・不妊手術

